

JISA 日中 IT セミナー 開催報告

テーマ：デジタルトランスフォーメーションと日中ビジネスパートナーシップ

平成 30 年 11 月 30 日（金）、JISA 会議室にて、日中 IT セミナーが開催された。テーマを「デジタルトランスフォーメーションと日中ビジネスパートナーシップ」とし、北京アウトソーシングサービス企業協会を中心とする中国ソフトウェア企業訪日ミッションの来日の機会に合わせて開催され、参加者は日中合わせて約 45 名。

開会挨拶として日本側からは JISA 大須賀 正之グローバルビジネス部会 部会長、中国側からは北京アウトソーシングサービス企業協会 鐘 明博 理事長より挨拶があった。



はじめに、日本側のスピーチとして（株）アイピーフロントの余 東 代表取締役から、「これからの日中間の IT ビジネス連携に向けて～IPFront 事業経験を踏まえて」と題し、同社の IoT ソリューションを使った事業の紹介が行われた。

続いて、中国側のスピーチとして、北京優益天璽信息技術有限公司(北京UNITY)の 田 雅杰 董事長から「現実問題に対応するAI & OPT」として、北京UNITYのAIソ

リューションについて発表が行われた。



休憩後、2回目の日本側のスピーチとして、アイフォーカス代表取締役兼 CEO 余 望氏からは、**Narrow Band IoT (NB IoT)**を使った新しい技術とそのユースケースなどについて紹介があった。

また2回目の中国側のスピーチは「ブロックチェーンと中国式ビジネスモデル」と題し、杭州网新新思软件有限公司 段 志龍 董事長から発表が行われた。

その後、大須賀部会長がモデレータとなり、パネリストとして、講演者4名の他に、北京アウトソーシング協会 鐘 理事長と(株)MIRAIt Service Designの曹 陽 代表取締役社長も加わり、「これからの日中企業連携について」と題してパネルディスカッションを行った。中国では常に変化し続けることが不変であり、文化やビジネスの違いを乗り越えて日中間のビジネスをいかに勧めていくか等が議論された。



最後に、ネットワーキングレセプションを行い、名刺交換や日中関係についての意見交換を行った。

(JISA 国際部)